

リピットアッセイキット

(Lipid Assay kit, Code No. AK09F)

平成 25 年 9 月 2 日改訂

※本品は、研究目的にのみご使用ください。

脂肪細胞は、前駆細胞から未熟な脂肪細胞そして成熟脂肪細胞へと分化が進むにつれて、細胞内に中性脂肪を合成し脂肪球として蓄積します。そのため蓄積した脂肪球を評価することで脂肪細胞の分化の程度がわかります。

本キットは、親油性赤色色素であるオイルレッド O によって脂肪細胞内の脂肪球を赤く染めることができます。さらに赤く染まった脂肪球を抽出液で抽出し、色素量を定量することによって中性脂肪量も推測することができます。

《I -1. キット構成》

内 容	容量	本数	保存温度	危険表記および取扱上の注意
オイルレッド O 原液	150mL	2 本	室温	(成分としていずれもイソノビアルコールを含む) 労働安全衛生法 第 57 条の 2 に該当 危険 
抽出液	200mL	2 本	室温	<ul style="list-style-type: none"> ・引火性の高い液体及び蒸気 ・飲み込むと有害のおそれ(経口) ・皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮) ・強い眼刺激 ・中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害 ・呼吸器への刺激のおそれ ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

※本キットで、24 well プレート 30 枚分を測定することができます。

※お客様にご用意していただく試薬は、固定液（下記説明）、PBS、精製水を別途にご用意願います。

《I -2. キットの特徴》

- ・細胞内の脂肪球を簡単に染色できる。
- ・色素量から中性脂肪量の変動を測定できる。

《II. 固定液の調製》

固定液調整法

37%ホルムアルデヒド液（ホルマリン原液）	100 mL
精製水	900 mL
りん酸 2 水素ナトリウム・1 水和物 (NaH ₂ PO ₄ · H ₂ O)	4 g
りん酸水素 2 ナトリウム・無水 (Na ₂ HPO ₄)	6.5 g

市販試薬をご購入の場合は、10%中性緩衝ホルマリン液（和光純薬工業株式会社製、組織固定用 1 L、Cat.No.062-01661 または同等品）にて使用可能です。

《III-1. 測定方法 –24well プレートを使用した場合ー》

- (1) 24 ウェルプレートで培養した脂肪細胞をご用意ください。
- (注意) これ以降の作業は、培養面から脂肪細胞が剥がれやすい状態のため注意深く行ってください。
- (2) 培養液を除去後、1 ウェルあたり $500 \mu\text{L}$ の PBS で 1 回洗浄してください。
- (3) 1 ウェルあたり固定液を $500 \mu\text{L}$ 加え、室温で 1 晩固定してください。
- (4) 固定後、1 well あたり精製水 $500 \mu\text{L}$ で洗浄して下さい。
- (5) 《III-2. オイルレッド O 液の調製》に従ってオイルレッド O 液の調製してください(用時調製)。
- (6) 各ウェルに(5)のオイルレッド O 液を $500 \mu\text{L}$ ずつ分注し、室温で 15 分間静置して下さい。
- (7) 15 分後オイルレッド O 液を除去し、1 ウェルあたり精製水で 3 回以上洗浄してください。洗浄水が透明になるまでよく洗浄して下さい。
- (8) そのまま乾燥し観察して下さい。
- (9) 脂肪滴の定量は、乾燥させたウェル内に抽出液を $500 \mu\text{L}$ 加えて色素を溶出させます。溶出させる時間は、30 分から 2 時間程度です。溶出させた溶液を、分光光度計で波長 540nm における吸光度を測定して下さい。分光光度計の検出限度を超える場合は、抽出液で希釈して再測定してください

《III-2. オイルレッド O 液の調製》

オイルレッド O 液は、用事調製のため使用前に以下の通りに調製してください。

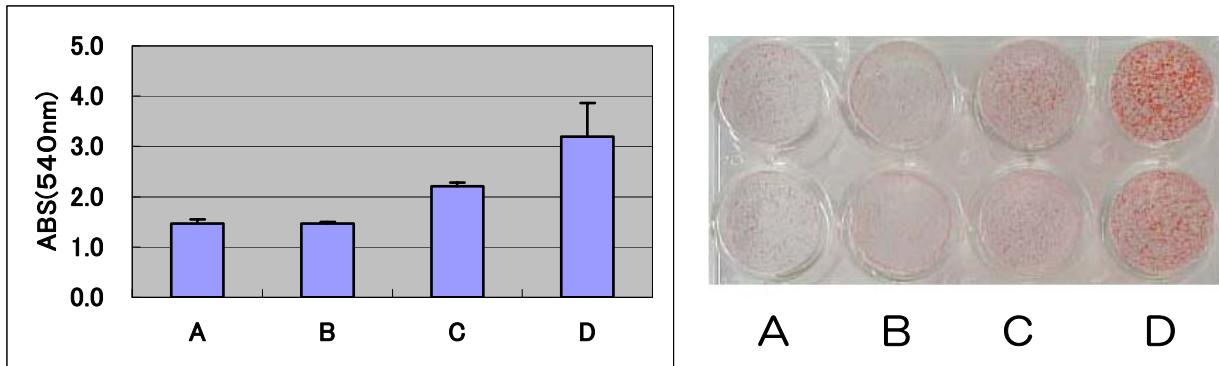
- (1) オイルレッド O 原液：精製水を 6 : 4 の比率で混合し、室温で 10~15 分間静置して下さい。
- (2) その後、孔径 $0.5\text{ }\mu\text{m}$ のメンブランフィルターでろ過し、ろ液をオイルレッド O 液とします。
※オイルレッド O 液は、調製後 1 ~ 2 時間以内にご使用ください。析出が生じた場合はご使用することができません。

《IV. 脂肪定量の例》

各試料に対する脂肪細胞の影響について、ラット内臓脂肪細胞を用いて検討をおこなった結果になります。

各試料で培養し脂肪滴の蓄積量を本キットで検出しました。

オイルレッド O 染色した腸間膜脂肪細胞(右図)と、引き続き抽出液で溶出し波長 540nm で測定した結果(左図)になります。



《V. 各種脂肪細胞培養キットの紹介》

脂肪組織は部位によって機能性などが異なり、大まかに褐色脂肪、皮下脂肪、内臓脂肪に分類できます。そのような脂肪組織のうち、ラット新生仔から肩甲骨周辺の褐色脂肪組織由来の褐色脂肪前駆細胞培養キット、胴周り皮下脂肪由来の白色脂肪前駆細胞培養キット、成熟ラットの同一個体群からの3種類の脂肪細胞（精巣上体周囲脂肪細胞培養キット・皮下脂肪細胞培養キット・内臓脂肪細胞培養キット）の販売を行っております。いずれも初代培養細胞で、株化した細胞と異なり生体内の機能を高く保持しています。また、トリアシルグリセロール合成に関与する酵素の一つ・グリセロール3リン酸脱水素酵素（GPDH）を測定するGPDH活性測定キットも販売しております。どうぞご利用ください。

表に記載した製品は一部になります。詳しくはwebからご覧ください。

メーカーID	品名	容量
BAT01	褐色脂肪細胞培養キット F-1	25cm ² フラスコ×1個、専用培地
BAT02	褐色脂肪細胞培養キット F-8	25cm ² フラスコ×8個、専用培地
WAT01	白色脂肪細胞培養キット F-1	25cm ² フラスコ×1個、専用培地
WAT02	白色脂肪細胞培養キット F-8	25cm ² フラスコ×8個、専用培地
VAC01	内臓脂肪細胞培養キット V-1	凍結細胞 (3×10 ⁶ cells) ×1本、専用培地
EAC01	精巣上体周囲脂肪細胞培養キット V-1	凍結細胞 (3×10 ⁶ cells) ×1本、専用培地
SAC01	皮下白色脂肪細胞培養キット V-1	凍結細胞 (3×10 ⁶ cells) ×1本、専用培地
AK01	GPDH活性測定キット	100検体用

《本製品をご利用になられた文献、発表データ》

本製品をご利用いただいて投稿された論文、学会発表パネルなどを送付いただきましたお客様に粗品を進呈させていただきます。ご提供いただきました論文などは、WEBやカタログ、技術資料を通じて多くの研究者の方への技術情報として利用させていただく場合がございます。是非皆様のご協力を願いいたします。

送付方法

〒063-0061 北海道札幌市西区西町北12丁目1-12 YSビル
コスモ・バイオ株式会社 プライマリーセル事業部 あて郵送
または primarycell@cosmobio.co.jp あて PDFファイル送信



コスモ・バイオ株式会社
COSMO BIO Co., LTD.

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 東陽駅前ビル
URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部（お問い合わせ）
TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619
TEL : (03) 5632-9620

● プライマリーセル事業部（技術的なお問い合わせ）
TEL : (011) 667-5911 FAX : (011) 667-5912
E-mail : primarycell@cosmobio.co.jp
URL : <http://www.primarycell.com/>